

高精度な **位置情報** を 低コストで取得します

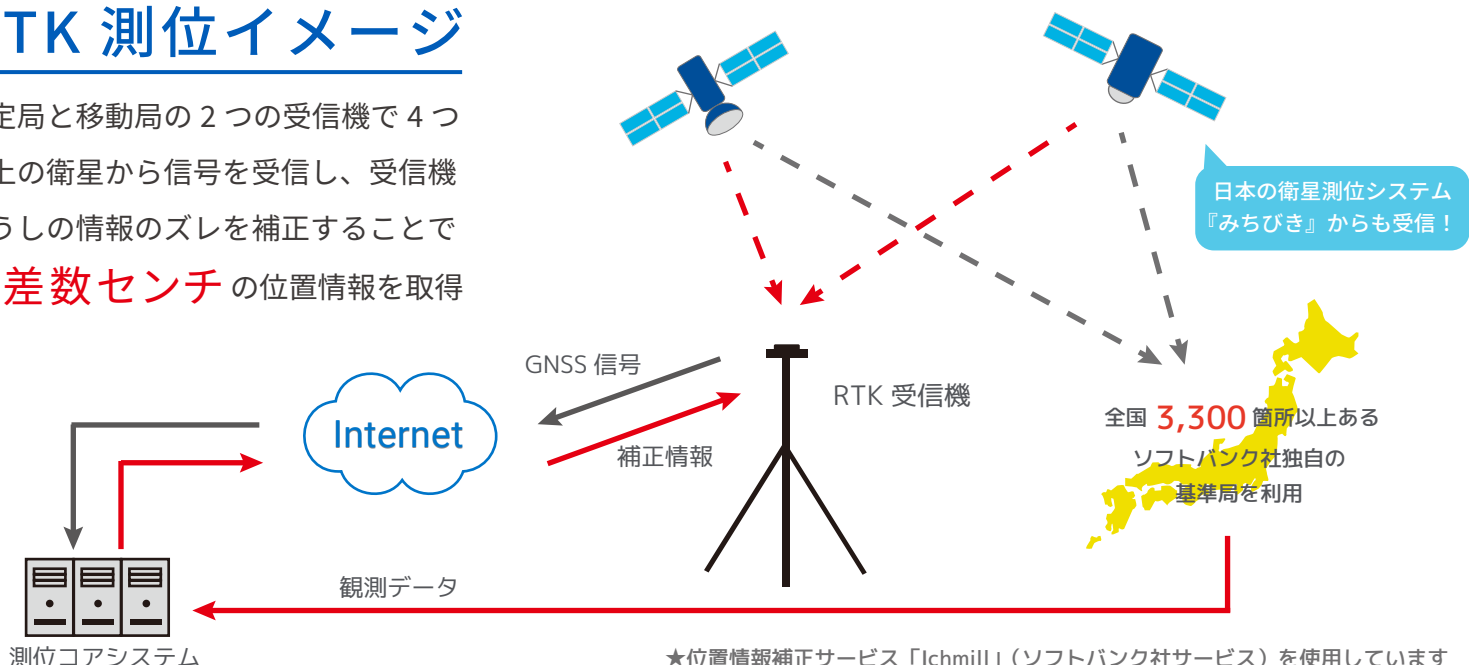
当社では、簡単かつスピーディーに

RTK (Real Time Kinematic)

測位による高精度な**位置情報取得業務**を提案します

RTK 測位イメージ

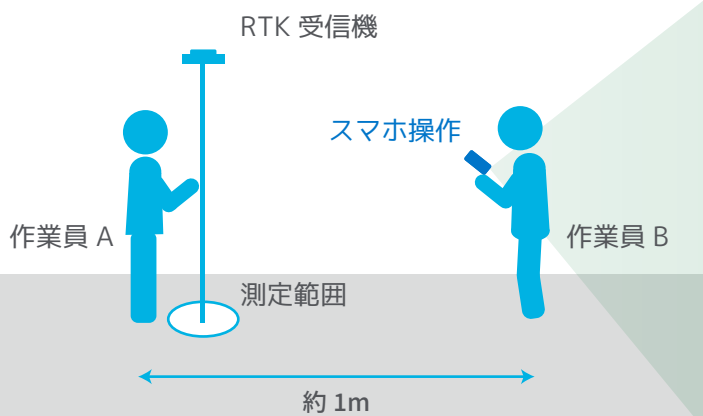
固定局と移動局の2つの受信機で4つ以上の衛星から信号を受信し、受信機どうしの情報のズレを補正することで**誤差数センチ**の位置情報を取得



RTK測位調査の流れ

従来：公共基準点などを利用し
トラバース測量等を実施

1. 事前準備：図面等の確認、スマホ設定、道路使用許可等の申請
2. 調査：測定箇所上で、RTK 機器を設置し位置情報を取得



調査箇所を常に把握

位置座標・証拠写真等の属性データを
スマホ (QGIS※連携アプリ) で現場入力

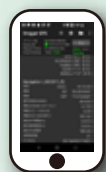


写真 Exif 情報にも反映

RTK 受信機の取得情報をスマホ内蔵
GPS に代替することで撮影データにも反映

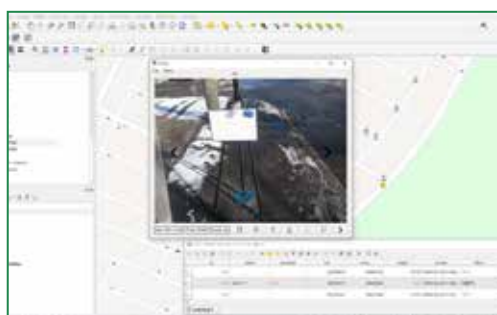
※ QGIS：オープンソースの地理情報システム

3. QGIS等でデータ変換・整理

スマホで取得したデータを GIS ソフトに移しシェープファイル等に変換し整理します。
また現場写真の Exif 情報にも位置情報が反映されているので写真でも確認できます。



QGIS (調査箇所のデータ整理)



スマホ画像データ Exif 情報

NJS システム「SkyScraper」との連携



図面・台帳整備や修繕さらには更新に至る
ライフサイクル全盛期の情報管理ができる
NJS の管路情報システム (SkyscraperPL)
と RTK を連携して、高精度な位置情報で
施設管理などをサポートします。

業務の効率化支援



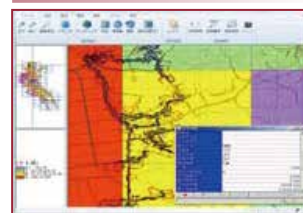
地震・長寿命化計画策定支援



管路施設等の情報の一元管理



フィールドワーク等の支援



本サービスに関するお問い合わせ